

(様式1) 新規評価総括表

事業種類	地すべり対策		事業名	急傾斜地崩壊対策等						建設部 砂防課								
	番号	市町村名		(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費 (千円)	H26年度 事業費 (千円)	完了 予定 年度	箇所評価						部意見	行政改革課意見	現地 調査	申請
必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	評点													
1	みなみあいきむら 南相木村	かみつちいわ 上土岩	施工延長L=390m 重力式擁壁工 L=390m	200,000	20,000	H30	30	11	9	21	14	85	保全対象に人家15戸、避難所である南相木村公民館がある。斜面には不安定な浮石も見られ、早期に対策を行う必要がある。	落石による家屋被害が懸念されることから、必要性が高く、緊急性も認められる。	○	○	○	
2	たつのまち 辰野町	こうた 鴻の田	施工延長L=300m 重力式擁壁工 L=300m	200,000	20,000	H30	27	14	6	18	20	85	保全対象に人家8戸、避難所である鴻の田公民館がある。平成23年には落石が発生しており、早期に対策を行う必要がある。	平成23年度の豪雨で落石が発生していることから、必要性、重要性、緊急性も認められる。	○	○	○	
3	やまうちまち 山ノ内町	いちせ 一ノ瀬	施工延長 L=300m 吹付法砕工 L=300m A=6000㎡	100,000	10,000	H30	18	12	9	20	20	79	保全対象に6戸および避難路がある。斜面は風化による浸食が進み小崩壊も発生しており、早期に対策を行う必要がある。	重要性、緊急性が認められる。		○	○	
4	きたあいきむら 北相木村	みやだいら 宮ノ平	施工延長 L=220m 重力式擁壁工 L=220m 法面工 A=1300㎡	180,000	20,000	H30	27	6	9	21	14	77	保全対象に人家4戸、災害時要援護者関連施設3棟及び避難所がある。斜面には不安定な浮石も見られ、早期に対策を行う必要がある。	必要性、緊急性が認められる。		○	○	
5	うえだし 上田市	おのいり 小之入	施工延長L=220m 重力式擁壁工 L=220m	200,000	14,000	H30	30	5	9	18	14	76	保全対象に人家10戸、避難所である鳥屋公民館がある。斜面は風化による浸食が進んでおり、早期に対策を行う必要がある。	高さ100m以上の急斜面であり風化も進行していることから、必要性が高く、緊急性も認められる。	○	○	○	
6	きそむら 木祖村	みやま 見山	施工延長 L=270m 吹付法砕工 L=300m A=3000㎡	250,000	20,000	H29	15	12	7	20	20	74	保全対象に人家15戸、JR中央本線、村道等がある。斜面には、湧水があり軟弱地盤であるため、早期に対策を行う必要がある。	軟弱で湧水もあり斜面崩落の危険性が高いことから、緊急性が認められる。	○	○	○	
7	すわし 諏訪市	おおくまじんぐうじ 大熊神宮寺	施工延長L=300m 重力式擁壁工 L=300m	200,000	20,000	H29	12	11	10	23	14	70	保全対象に人家18戸がある。斜面は風化による浸食が進んでおり湧水もある。近年は小崩壊も発生しており、早期に対策を行う必要がある。	豪雨に伴い、斜面崩壊が発生していることから、緊急性が認められる。	○	○	○	
8	しおじりし 塩尻市	おりど 折戸	施工延長L=200m 重力式擁壁工 L=200m	100,000	20,000	H29	27	5	10	18	10	70	保全対象に人家8戸、避難所である旧豊川小学校体育館がある。斜面には不安定な浮石も見られ、早期に対策を行う必要がある。	最大高さ156mの急斜面下に公民館、災害時避難施設があることから、必要性、緊急性が認められる。	○	○	○	

